



坂口友良 議員

特別職の退職金の額について  
調査が必要だが考へは

問 今回特別職報酬等審議会委員のメンバーも出され、活躍が期待できる。メンバーには町内事業所団体の会長さんも入つてるので、一度町内事業所の退職金ベースも教えてもらおう必要がある。果たして4年間で1,745万円もらえる事業所はあるのかどうか、その点も考慮が必要と思うが考えはどうか。

問 全教育、意識の向上、機械的・人的にも対策を取つていきます。

障がい者の生涯住まい計画の  
保護者との協力体制はどうか

問 このたびグループホームの請願書も可決していただき当局からも力強い支援もいただけますと保護者の方の喜びもひとしおである。今保護者の方々も自分達で計画や調査、用地の選定、資金など検討を始められている。用地の地区決定については、行政の応援や地元との話し合いの場の設定などを協力願えないだろうか。

問 運営母体の組織づくり、

山村町長 本年10月1日現在、職員の管理職の女性割合は41%で、平成24年の内閣府調査の割合を大きく上回っています。政府は女性の登用、政策・方針決定の参画拡大を要請しており、法の定める平等取扱いと成績主義の原則に基づき積極的に推進します。私の任期中に女性部長を誕生させたいとの思いがあり、女性職員の意識・意欲の向上に努めます。

新清掃センター建設計画で貯金を始める必要があるが計画は

問 古寺地区にある現クリーンセンターは平成34年に操業は終わりで、それまでに新しい地区に新清掃センターが必要になる。予算も数十億円

規模になるが、今から貯金を始める必要があるがどうか。また今回重大な人身事故が発生したが事故の予防、安全対策などはどう考えるのか。

理事者

平成28年中に次期建設候補地を決定すべく計画推進していくま



八代基次 議員

有能な女子職員には  
ふさわしい地位を

問 近年、産業界、中央省庁においては女性がその能力に応じての活躍が目立つていますが、本町では課長職は少数だし、部長職はほとんどない。政府も女性重視の政策を打ち出している。女性の高級管理職の登用は役場内に新鮮な感じを与え、繊細な神経を使って部内をまとめ、職責を果たすものと信じます。また、女性職員の志気を高め、男性職員を含めての切磋琢磨に結びつき、活性化すると信じます。町長の見解は。

問 本年9月は高齢者福祉月間であり、各地で種々の事業が展開されています。本町では100歳、90歳到達者に敬老金贈呈、町長の訪問、70歳到達者にキーホールダーの配布、70歳以上に敬老祝品、健康福祉大会の開催等であり、マンネリ化ではなくされた高齢者を祝う趣旨を踏まえ、よりよい事業に発展するよう検討を進めます。

考え方  
「敬老の日」のあり方

問 本年の「敬老の日」の行事は天候の関係で中止になった。恒例の芝居の観劇ができず、残念に思う人達もおられます。かぐや姫ホールで町長、高齢者、関係者が集まり、祝辞、観劇、ケーキの配布等でマンネリ化していないだろうか。

この日は国民の祝日であり、国民の各々が老後を考える日であり、自己の反省、設計の日でもあります。高齢者にとって、「何か役に立つ事は」人間は誰でも自分の存在意識、向上心を感じた時、最も幸福と感じると思います。その意味において町主催の「敬老の日」のあり方を見直してはどうか。